

質問 長屋議員（自民・岐阜市）令和7年12月10日（水）

2 岐阜県の魅力発信に向けた今後の展開について

（1）県の認知度と魅力度向上に向けた新たな広報戦略について

答弁 知事

岐阜県は日本の真ん中にあって、広大な山林や肥沃な農地、そして素晴らしい温泉、そして美味しい食べ物、世界に誇る伝統文化や歴史遺産など、全国的にも恵まれた資源が豊富にあり、国内のみならず、特に海外から多くの観光客が訪れているところでございます。

一方で、議員ご指摘のとおり、多くの観光客にとって、これらの素晴らしい資源が岐阜県にあるとの認識が低いと言われており、実際、昨年行われましたネット上のアンケート「どこにあるか分からなくなりがちな都道府県ランキング」では、岐阜県は全国最下位になるなど、大変残念な状況と言わざるを得ません。

特に、岐阜県に生まれ育った子どもたちに、ふるさとへの誇りや愛着を持つてもらうためには、特に若い世代の人たちに、岐阜県の素晴らしさや魅力を積極的に発信し、分かりやすく伝えていくことは極めて重要でございます。

とりわけ、若者向けに効果的に情報を届けていくためには、これも議員にご指摘いただいたように、従来からのテレビ、ラジオ、新聞等のメディアだけでは十分とはいえない、SNSなど新たな手段も組み合わせて、総合的に発信力を高めていく必要があると考えております。

こうしたことから、岐阜県におきましては、広報課にSNSを通じた情報発信を行う特別チーム、これを設置いたしまして、県内外の若い世代に「岐阜県はおもしろい」、「岐阜県のことをもっと知りたい」と感じてもらえるよう、県の政策や地域資源、魅力などの発信に取り組んでいるところでございます。

10月に開設いたしました公式Instagramでは、県政情報に加えまして、県の認知度向上を図るために、世界遺産や歴史、自然などの岐阜県が誇る地域資源を紹介する「実は、岐阜県！」シリーズを発信しているところでございます。

このシリーズの中で、岐阜県が「どこにあるのか」についても動画を用いて分かりやすく、かつ、海外の方にも一目でお分かりいただけるよう、英語発音、英語併記にて情報発信しているところでございます。

また、若年層が関心を持ちにくいと言われる政策については、若年層に人気のショート動画を活用して、知事記者会見の「ポイント動画」や「15秒解説動画」など、県の政策を分かりやすく発信しております。

さらに、岐阜弁を紹介するショートドラマなど、若手職員が自らの目線で岐阜の魅

力を発信する企画を考え、部局を問わず意欲ある職員が出演するなど、職員の新たな活躍の場となっており、視聴者数も順調に伸びており、応援のコメントなども頂いております。私も若手の指示によって出演させていただいております。

そのほか、県全体としてSNS発信力強化のため、各所属の職員への動画の撮影・編集・投稿についてのアドバイスを行うほか、各所属が独自に管理するアカウント、これの集約・整理も進めているところでございます。

議員からご提案の、キャッチコピーやキャラクターは、岐阜県の認知度や魅力を高める上で重要な役割を担うものと認識しております。また、ミナモにつきましては、様々な媒体や行事で活用しております、子どもから大人まで幅広い世代の皆様に愛されるキャラクターとなっているところでございます。ただし、新たなキャラクターなどにつきましては、すぐに批判など様々な意見が出やすいものであることも事実でございます。そうした点も念頭に置きつつ、次世代を見据えた広報戦略を多角的に検討してまいります。

何れにしましても、若者をはじめ、県内外の幅広い方々に向けて、県の魅力や政策を、まさに議員におっしゃっていただいたとおり、ストーリー仕立てで分かりやすく紹介するなど、皆様の共感を呼ぶ広報を力強く展開し、本県の認知度と魅力度の向上につなげてまいります。

担当課 広報課
電話番号 058-272-1116
メール c11103@pref.gifu.lg.jp

2 岐阜県の魅力発信に向けた今後の展開について

(2) 大型イベントの成果と今後の展望について

①ねんりんピック岐阜 2025 を終えての所感と成果を生かした今後の展開について

答弁 知事

コロナ禍によりまして延期、中止を経て5年ぶりに開催されました、ねんりんピック岐阜大会では、全県を舞台に様々な取組が行われました。

まず本番への機運醸成のため、本年7月から、県内5地域においてレクリエーションフェスティバルを開催するとともに、キックオフイベントを行い、総合開会式での炬火台に点火する「健康長寿の火」を採火いたしました。

迎えた大会本番は、10月18日から4日間、全国から1万人の選手、関係者を迎えて盛大に開催させていただきました。

特に関ヶ原の合戦に見立てた開会式をはじめ、飛騨牛や鮎をメインとした豪華な大会弁当、本県ならではの飲食、お土産ブース、各市町村での心のこもったおもてなしなど、大変好評でございました。

各競技会場におきましても、スポーツや文化種目に加え、本大会独自の取組であります、誰もが参加できるレクリエーションで盛り上がったほか、全国から500点を超える作品が寄せられた美術展や健康福祉機器展など、本大会はスポーツ、文化、健康と福祉の総合的な祭典として、大成功のうちに終えることができました。

改めて、関係いただいた全ての皆様に、心から感謝申し上げます。

大会を終えての所感といたしましては、3点ございます。まず第1に、ねんりんピックは高齢者が主役であるものの、今回は「若い世代」の活躍が本大会の特徴であったと感じております。特に地元小中学生や特別支援学校の生徒による応援のための横断幕や幟の作成、開閉会式での保育園児、児童合唱団、高校生、大学生、濃姫隊などによるパフォーマンスなどに大変大いに盛り上げていただきました。

第2に大会を通じて、岐阜の誇る喫茶店のモーニング文化、これを全国に発信できることでございます。スタンプラリーは登録店舗が420に達したほか、モーニングコンテストも盛り上りました。また、チケット付きガイドブックが好評を博したほか、市内3か所のモーニングブースでは売り切れ続出となりました。美味しい、楽しい、ワクワクがテーマの「ぎふモーニングプロジェクト」により、「頑張らなくてもできる健康づくり」への理解が広がりつつあるところでございます。

そして第3は、選手、関係者が皆、「笑顔」で「生き生き」と活動されていたことが印象的でございました。私も実際多くの会場を回らせていただきましたけれども、どの会場でも私がむしろ元気をいただいたらしくてございます。健康づくりには生きがいとなるスポーツ・レクリエーションが大変重要であることを実感したところでご

ざいます。

今後は、こうしたプロジェクトにおいて得られた経験を生かしまして、人生百年時代の健康づくりを更に進めてまいります。

具体的には、来月からモーニングプロジェクト第二弾として、喫茶店を利用する高齢者の方々を中心とする約800名の方々を対象に1年間にわたって健康データを取得させていただき、健康増進やフレイル予防につなげる取組を行ってまいります。

さらに、様々なレクリエーションにつきましても、モーニングプロジェクトとの連携による普及拡大、担い手としての若者の参加促進、医療分野との連携など、幅広い視点から推進してまいります。

担当課 ねんりんピック推進事務局

電話番号 058-272-8869

メール c11175@pref.gifu.lg.jp

2 岐阜県の魅力発信に向けた今後の展開について

(2) 大型イベントの成果と今後の展望について

②今後の全国的・国際的なスポーツイベントの誘致・開催に係る考え方について

答弁 知事

本県では、平成24年の「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」の成果を一過性に終わらせることなく継承していくため、全国的・国際的なスポーツイベントの誘致・開催に取り組んでまいりました。

最近では、平成28年の「全国レクリエーション大会」、平成30年の「アジアジュニア陸上競技選手権大会」、令和元年の「日本スポーツマスターズ」などを県が主体的に開催することで、県全体のスポーツ振興、健康増進、地域の活性化、岐阜の魅力発信等に貢献できたと認識しております。そして何より、イベントに携わった県職員の成長に大きな効果があったと考えております。

一方、こうしたイベントの開催には、議員ご指摘のとおり、特に財政面において相当程度の県負担が生じます。しかしながら、職員の知恵と工夫によって、例えば「ねんりんピック」では、当初予定していた全体事業費を約2割、金額にして3億円を削減しつつ、大変大きな成果を得ることができました。

他方、本県では、「ぎふ清流ハーフマラソン」や、美濃市でのロードレース「ツアーオブ・ジャパン」、愛知・岐阜が舞台の「世界ラリー選手権ラリージャパン」といった全国的・国際的なイベントも毎年開催されており、約6～10万人規模の参加が実現しているところでございます。

実はこうしたイベントでは、県の財政負担は比較的小額でございますが、ただその一方で額は少なくとも県外からの参加者も多く、宿泊や飲食、買い物など高い経済効果が得られており、また、県民が海外のトップレベルの選手と触れ合えるとともに、岐阜を世界へPRできる貴重な機会となっております。先だっても、天下富舞をこの会で紹介させていただいて、大変好評でございました。

今後こうした大型イベントの企画や、全国的・国際的スポーツイベントの誘致・開催については、厳しい財政状況にかんがみ、県が主体となって開催することは当面は控えざるを得ないと考えております。

なお、既に来年度開催が決定しております「国民スポーツ大会冬季大会」につきましては、「ねんりんピック」を参考にしつつ、極力財政負担を抑えながらも大会を盛り上げる工夫をしてまいります。

その一方で、他団体等が主体となる大規模スポーツイベントにつきましては、県が有する様々なネットワークを活用して積極的に誘致してまいりたいと考えております。

また、議員からご提案のありました日本固有の「武道」につきましては、演武の披露や武道体験会などの開催とともに、関ヶ原を始めとする多くの史跡や、関市の刃物産業とも連携して、重層的な効果のあるイベントを企画・立案してまいりたいと考えております。

担当課 地域スポーツ課

電話番号 058-272-1836

メール c11172@pref.gifu.lg.jp